

## 折に触れ 四字熟語

### NO. 246 【一目十行】 いちもく じゅうぎょう

< 意味 > 書物などを速く読む力がすぐれていることのとえ。一目見ただけで、すぐに十行分を読むことができる意から。

< 出典 > 『梁書』簡文帝紀「読書十行俱ともに下る」（読書の際に一度に十行を読む）

< 故事 > 梁の簡文帝は、幼いころより理解力が人並み以上であって、読書の際に一度に十行ずつ読んだという故事から。

表 言： 一目十行の読書力

語 釈： 「一目」は「ひとめ」とも読む。

一 言： 読書は認知症の予防に有効と言われるまでもなく、若い頃から努力してきたことではありますが、私を含めてなかなか速読できない人も多いと思います。一目十行なんてそんな超人的なことができる人がいるのでしょうか。いたら羨ましい限りです。

参照文献： 岩波書店「四字熟語辞典」